

TOSEI NEWS

▶ 日本では初めて路面電車芝生軌道ラバーブロック工法システムが採用されました。

Report

平成22年度～平成23年度 熊本市交通局軌道移設工事

エディロンセドラ社のラバーブロック工法システムは
欧州、特にフランス・パリやリヨンの新線芝生軌道等で広く普及されてきました。
この新工法を導入して軌道移設工事におけるラバーブロック工を施工しました。

▶ ラバーブロック工法の効果、目的

ラバーブロック工法はレールと周辺構造を分離することで漏電電流の防止や騒音の削減に優れた効果があります。
また車輪とレールの粘着性能やブレーキ操作に悪影響を与えがちな芝生などの軌道周辺からレールを守り、理想的な粘着性能を実現し保守の手間を軽減します。
レールが高温に熱せられると周辺の植物がレールに触れた場合、変色したり枯れる恐れがありますが、ラバーブロックではこの心配もありません。

▶ 路面電車軌道敷緑化事業

地球温暖化防止、低炭素都市づくりの一環として都市部における緑地空間の創出、ヒートアイランド現象の緩和、走行騒音の低減を図るため軌道緑化を行います。



■ 芝生軌道



■ 芝生軌道

edilon) (sedra

エディロン) (セドラ社は高速鉄道、地下鉄、LRT、路面電車の構造基盤を基礎にした鉄製レールに関する革新的な技術の促進に努めている世界的な会社です。

詳しくはエディロン) (セドラ社のホームページでご確認ください。

<http://www.edilonsedra.com>

